

松村 秀明 [指揮] Hideaki Matsumura, Conductor

慶應義塾大学法学部卒業。大学在学中より洗足学園音楽大学附属指揮研究所にて学ぶ。これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏に師事。2006~2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加、2010年度は紀尾井シンフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクールで第3位入賞。これまでオーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、岡山フィル、神奈川フィル、関西フィル、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィル、仙台フィル、セントラル愛知響、千葉響、中部フィル、東京交響楽団、東京シティフィル、東京都交響楽団、東京フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、広島交響楽団、山形交響楽団、読売日本交響楽団等を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ=トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、大好評を博す。また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇ご即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。

中部フィルハーモニー交響楽団

2000年小牧市交響楽団として設立。2007年中部フィルハーモニー交響楽団へ改称。愛知県小牧市を拠点に「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」を目指して、主に中部圏で精力的に演奏活動を行っている。古典から近代までの幅広いレパートリーと、アンサンブル技術で高い評価を得ている。これまでに愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞し、「多年にわたる地方自治の発展への功績」に対し愛知県より感謝状を授与された。現在、秋山和慶が芸術監督・首席指揮者、飯森範親が首席客演指揮者を務めている。

磯 絵里子 [ヴァイオリン] Eriko Iso, Violin

桐朋学園大学卒業後、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学し、修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。ソリストとして国内外のオーケストラと多数共演し、宮崎国際音楽祭へは毎年参加、2010年よりFMヨコハマ「磯絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務めている。ソロ活動に加え、「デュオ・ブリマ」「EnsemblePhi(ファイ)」「椿三重奏団」「デュオ・パッシオーネ」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。一財)地域創造公共ホール活性化支援事業登録アーティスト、並びにソニー音楽財団「こどものためのクラシック」登録アーティストとしてアウトリーチ活動にも積極的に参加している。デビュー以来11枚のCDをリリース。2020年2月に発売された椿三重奏団のCDは「レコード芸術」誌特選盤に選出された。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり、「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシックシーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評価されている。洗足学園大学講師。

オフィシャル・サイト <https://erikoiso.jp/>

新倉 瞳 [チェロ] Hitomi Niikura, Cello

幼少期をアメリカトイツで過ごす。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂新人演奏会に出演し御前演奏を行う。その後スイスへ渡りバーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga、Martin Zeller(バロックチェロ)の各氏に師事。2014年よりCamerata Zürichのソロ首席チェリストに就任。国内外での受賞歴も多数、近年では第18回ホテルオーケラ音楽賞を受賞。

桐朋学園大学在学中にEMIMusic JapanよりCDデビュー後、CDを多数リリース、国内外でリサイタル、オーケストラとの共演を重ね、テレビ、ラジオにも多数出演。現在はスイスを拠点にソリストとして、スイスのクレズマーバンド「Cheibe Balagan」、アコーディオニスト佐藤芳明氏とのデュオ、ピアニスト高橋多佳子氏とヴァイオリニスト磯絵里子氏との「椿三重奏団」としても、幅広く奥深い音楽を追求している。近年ではサントリーホールで行われた歌舞伎俳優の尾上松也氏とのコラボレーション「セロ弾きのゴーシュより~某(それがし)はセロである」にて音楽劇に挑戦し、好評を博した。2016年より演奏家のためのドレスプロデュースを始め、現在は2019年秋にデビューした「MMagliecassetto」ドレスラインのプロデュースを担当している。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたMatteo Goffriller(1710年製)。

オフィシャル・サイト hitominiikura.com

高橋 多佳子 [ピアノ] Takako Takahashi, Piano

第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位、第6回ボルト市国際音楽コンクール第2位、第3回ラジヴィーウ国際ピアノ・コンクール第1位、第22回日本ショパン協会賞などを受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。その後10年間にわたりポーランドで研鑽を積む。国立ワルシャワ・フィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京都響など国内のほとんどの主要オーケストラと共に演奏を重ねる。既に20タイトルのCDをリリース、《ショパンの旅路》、《ラフマニノフ:ピアノ・ソナタ第2番&ムソルグスキイ:展覧会の絵》(オクタヴィア)など多くが“レコード芸術特選盤”となる。2015年刊行の《ショパンの本》(音楽之友社)ではDVDでのピアノ演奏を担当し、発売と同時に大きな話題となった。2019年12月には待望の「ショパン:ピアノ協奏曲第1番」とその他ショパン作品の新録音からなる通算21枚目となるショパン・アルバムがオクタヴィア・レコードよりリリース。

2010年から《茂木大輔の生で聴く『のだめカンタービレ』の音楽会》全国ツアーに参加。浜離宮朝日ホールでのリサイタルシリーズ《ショパンwithフレンズ》(全4回)、《名曲達の饗宴》(全3回)は、各回ともに優れた企画と高い音楽性で絶賛を博した。

ソロ活動の他に、宮谷理香とのピアノ・デュオ「デュオ・グレイス」、磯絵里子(Vn)・新倉瞳(Vc)との「椿三重奏団」としても活動。「椿三重奏団」としては2020年2月にデビューCD(アールアンフニ・レーベル)をリリース。

ヨーロッパの著名な国際音楽祭への出演や、中国での公演、ポーランドの《青少年のためのショパン国際ピアノ・コンクール》、ロシアの《ラフマニノフ国際ピアノ・コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的なキャリアも築いている。

オフィシャル・サイト facebook.com/takakoChopin1990

2023 1/28(土) 開場14:30 開演15:00 幸田町民会館さくらホール【全席指定】

先行予約(ClubハッピネスWeb会員／中部フィルサポーター・フレンズ)

10/5(水)9:00~10/11(火) 一般発売10/19(水)9:00~ 料金／一般3,500円 学生1,000円

- 一般発売日初日はインターネット販売、チケットぴあ、ローソンチケット、中部フィル電話予約のみの取扱いとなります。
- 会館窓口販売及び電話予約は、残席がある場合に限り10月20日(木)10:00から受付いたします。
- セブン-イレブン店頭レジでのお支払・発券には、別途、各種手数料が必要となります。

インターネット販売

ClubハッピネスWeb会員の
事前登録が必要です【無料】

ご予約後は、

- セブン-イレブン店頭レジでのお支払 ▶ 発券
- クレジットカードによるオンライン決済
▶ セブン-イレブン店頭レジまたは幸田町民会館事務室で発券
- 幸田町民会館事務室でのお支払い ▶ 発券
の、いずれかの方法をお選びいただけます。



インターネット予約はごちらから▲

電話予約

幸田町民会館 ●9:00~22:00／月曜休館 ※祝日の場合は翌日
【専用ダイヤル】 ●予約有効期日に幸田町民会館事務室またはセブン-イレブン

0564-63-5181 店頭レジで代金をお支払いいただき、お受け取りください。

中部フィルハーモニー交響楽団 ●9:00~17:00／日曜・月曜休業

0568-43-4333 ※公演の都合上、臨時休業する場合もございます。

窓口販売

●幸田町民会館事務室にて承ります。

●9:00~22:00／月曜休館 ※祝日の場合は翌日

プレイガイド

※初日は10:00~です。

●チケットぴあ [Pコード 228-009] <https://t.pia.jp>

WEB予約またはセブン-イレブンで直接購入もできます。

●ローソンチケッター [Lコード 41773] <https://l-tike.com>

WEB予約またはローソン、ミニストップで直接購入もできます。

チケットのご購入方法

ACCESS



お問合せ

ハッピネス・ヒル・幸田指定管理者

幸田町文化振興協会 TEL.0564-63-1111

〒444-0103 須田郡幸田町大字大草字丸山60番地

<https://www.happiness.kota.aichi.jp>